

## ごあいさつ

木村 博昭



平成29年4月に着任しました木村でございます。よろしくお願いいたします。

これまでほとんど勤務経験のない自然に関する職場で、

自然について理解を深めるため奮闘中の毎日ですが、実物資料などが身近にあることや当館運営にご協力をいただいている関係機関の方々からのアドバイスなどにより、本県の自然の魅力や多彩さに驚きと誇りを感じているところでございます。同時に、本県の自然の貴重な価値を多くの方々に関わりやすく展示解説する博物館の役割の重さを感じております。館運営にあたりましては、利用者の皆様の目線に立って取り組んでまいりたいと思います。

さて、当館は昭和56年11月開館以来、埼玉県唯一の自然系総合博物館として、自然及び自然と人々の暮らしとのかかわりに関する資料収集・調査研究を行うとともに、展示や教育普及活動等を通して県民の皆様へ情報提供などを行ってまいりました。こうした当館の長年に渡る資料収集活動と調査・研究活動の成果として、平成28年3月に当館所蔵のパレオパラドキシアなどの化石標本9件と秩父地域の露頭6件が国の天然記念物に指定されたところです。お陰をもちまして、昨年度の入館者数は対前年度比で30%増となりました。

今年度の事業につきましては、企画展・特別展や市町村との共催展などの展示事業、観察会・自然史講座等の体験学習などの教育普及事業を実施します。また、職員が学校や社会教育団体などに出向いて行う出前授業等も予定しております。以上の事業につきましては、例年実施しているものですが、利用者の多様なニーズにお応えできるよう、さらに内容を充実してまいりますので、ご期待いただければと思います。

また、今年度重点事業としまして、次の2点を計画しております。

まず、埼玉県では、本県においても開催される東京2020オリンピック・パラリンピック大会やラグビーワールドカップ2019の成功に向けた取組を進めていくため、「埼玉県推進基本計画」を策定しています。その中で文化の取組として、本県の歴史・文化・自然などの多種多様な文化資源の魅力の世界に発信することとしています。このため、当館では国指定天然記念物など当館の魅力を高め、積極的に情報発信し、県内のみならず、県外・海外からも「人を呼べる博物館」を目指しているところです。内容としましては、国指定天然記念物及びジオパーク秩父コーナーの展示改修、より多くの入館者を呼び込むための案内看板設置、グローバル化に対応した情報発信のため多言語化などによるホームページデザインの一新を予定しております。

次に、昨年3月に国指定となりました天然記念物の保存活用計画につきましては、国指定された天然記念物を後世に伝えていくため、県と関係市町村が保存活用計画策定委員会を設置して、保存・活用・整備等のあり方を検討し、今後3年間で策定する予定です。策定にあたっては、保存活用計画策定委員や地元関係者・関係機関の方々からご意見をいただきながら、学術面、教育普及や地域振興に役立つものとなるよう検討してまいりたいと考えております。

今年度は秩父・長瀬の観光地としての魅力が各種メディアで取り上げられる機会も多く、その影響もあろうかと思いますが、当館でも多くの方々にご来館をいただいております。当館といたしましても、「太古の昔、秩父には海が広がっていた」「世界で9体しか発見されていないパレオパラドキシアの全身骨格標本のうち2体が埼玉県(当館)で見られる」「長瀬は日本地質学発祥の地」など、多くの方々に本県の自然の魅力や多彩さを改めて知っていただくため、わかりやすく楽しく学べる展示の工夫や博物館クイズなどをご用意して、皆様のご来館をお待ちしております。

(きむら ひろあき・館長)